

井原市 市民活動センター つどえ〜る通信

《発行所》
井原市市民活動センター
715-0019 井原市井原町352-1
TEL0866-62-9090 (FAX兼)
http://www.ibara.ne.jp/~katudou/
E-mail:katudou@ibara.ne.jp
編集/NPO法人市民交流
ネットワーク井原

井原へも飛んで来た



町生まれの「コウノトリ」が今年3月、上稲木町で交通事故に遭ったと聞き残念。この機会に日本の鳥類特別天然記念物に関する知識を高めた」と口々に話していました。井原市で確認されている野鳥は今年6月1日現在、153種類。

学習が主流だった頃から今日の手話に至る経緯等について説明。続いて「おはよう」「こんにちは」「おはよう」「こんにちは」「おはよう」といった日常会話を手話でどのように表現するか皆で復習しました。

市民28人が参加 手話体験講座

通算23回目の開催



休憩後は自己紹介の仕方、参加者全員の苗字の表し方を学習。地域に多い苗字はその土地でのみ通用する特別な手話があることも教わりました。後半には二人一組で挨拶をかねた会話にもチャレンジするなど、笑い声が絶えない90分間を過ごし、午後3時に閉会。

「コウノトリ」を知ろう！



井原野鳥倶楽部はつどえ〜る登録団体・円内写真は藤井代表

井原野鳥倶楽部（藤井聖三代表・会員15人）がつどえ〜るで7月5日、「コウノトリ」を知ろう！と題したセミナーを開き30人が受講しました。

井原野鳥倶楽部セミナー

同倶楽部は令和4年に発足し、井原市の市制施行70周年記念事業で市の鳥（メジロ）制定に貢献した団体。定期的にバー

ドウオツチングや一般市民向けの野鳥勉強会を開くなど、活動の場を広げています。この日は特別天然記念

緑のカーテン鮮やか

ゴーヤでSDGs推進

国連が定めた開発目標SDGs13番目「気候変動に具体的な対策を」に呼応し、CO2削減運動を推進しているつどえ〜る。



つどえ〜るの緑のカーテン=7/10

ツル性植物の緑のカーテンで強い日差しを遮ろうと4月13日、市民百人へゴーヤの苗を無料配布しました。

つどえ〜る西側の苗は窓の高さまで伸び、鮮やかな緑が道行く人たちの目を引いています。

活動の場にいかが？

つどえ〜る
利用促進を
NPO検討

趣味やまちづくり、気軽な集いに適しているつどえ〜る。新型コロナウイルスが5類に移行して以後、来館者は徐々に回復してきました。指定管理者のNPO関

力を得て6月7日、通算23回目のつどえ〜るの手話体験講座が開かれ28人が参加しました。（写真右）今回の講師は鳥越裕子氏と堀之内まい氏の二人。最初は鳥越氏が口話

係者は利用拡大へ向けて「井原駅前通りに面しているつどえ〜るは市の施設です。1階のワンフロアは広く多目的に使えます。会議室は大小二つ。自販機もあって駐車場は30台可。皆さま気軽にお越しください」とPRに努めています。

つどえ～る登録36団体

- (☉はNPO法人 氏名は代表者)
- 備中西商工会青年部美星支部
(酒井 良樹)
- ☉ まちづくり岡山ネットワーク
(山木 一郎)
- さくらの家 (井上 知恵)
- 樺の杜塾 (藤井 護)
- 鳥羽踊り保存会
(佐藤 和行)
- 井原町まちづくりの会
(落合 政満)
- ☉ 井原はばたき会
(坂本 忠穂)
- 井原アローズジュニア
(高村 誠)
- 井原備中神楽保存会・小中学生伝承教室 (藤井 和海)
- 倉掛自治連合会
(増成 実)
- 井原市文化協会洋画部
(妹尾 均)
- 井原スポーツ少年団B・C
(高木 繁光)
- たかやランニングクラブ
(高木 完二)
- 井原ライトクラブ
(三宅美恵子)
- 井原市グラウンドゴルフ協会
(田辺 建一)
- 美星会 (佐藤 誠)
- 猪清サロン スミレクラブ
(細羽 俊廣)
- 井原手話サークル
(森 典子)
- サロンあすは (小野 龍一)
- ☉ あんしん (井上 輝彦)
- やさしい塾 (丸山 敬介)
- めだかの集い (畑地 泉)
- 井原笑いヨガ・キラキラ
(小倉 康定)
- ☉ よしいかけはし
(河合 恭廣)
- 一般社団法人 未来野良
(野中 裕)
- 青野走ろう会 (三村 嘉勝)
- 井原まち歩きの会
(藤井 莞二)
- 県の里まちづくり推進協議会
(岡田 章文)
- 森近運平を語る会
(森山 誠一)
- 井原ゴルフキッズクラブ
(西山 徳之)
- 音楽療法で若返り教室
(野宮 弘恵)
- 井原野鳥倶楽部
(藤井 聖三)
- つどえ～る卓球教室
(内田 博)
- 一般社団法人 m i m o z a
(橋本 恭子)
- 井原トモツク会
(村上 匡徳)
- ☉ 市民交流ネットワーク井原
(渡辺 研一)

音楽療法で若返り教室
(野宮弘恵代表 Ⅱ円内写真
真Ⅱ会員40人)がつどえ

てもらおうと企画したのも
です。
プログラム1番は口や

「トーンチャイムの音色に癒されました」と参加者ら



冒頭、参加した52人を前に野宮代表は令和3年、認知症予防などを目標に立ち上げた若返り教室の活動内容を紹介。
この日は、つどえ～るや高屋公民館で歌やトーンチャイムの演奏を楽しんでいる姿を広く知ってもらおうと企画したのもです。
プログラム1番は口や

公開講座

音楽療法で若返り教室

館内に澄んだ音色



舌の筋肉を鍛え、誤嚥防止につながると思われるパタカラ体操を「みかんの花咲く丘」の曲に合わせて歌唱。続いて童謡唱歌「夏は来ぬ」や「南国土佐を後にして」など、かつてヒットした歌謡曲を歌ったり、歌体操や手作りマラカスで合奏したりしました。

教室の人たちが「荒城の月」と「浜辺の歌」を奏でると、参加者は心地よい澄んだ音色にうっとり。

最後にトーンチャイムは初めての参加者らが唱歌「茶摘」を体験演奏すると、館内は大きな拍手に包まれました。

3地域がプレゼン

井原市がんばる地域 応援補助金審査会



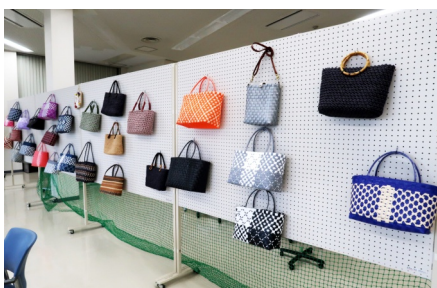
この応援補助金はまちづくり事業実現へ向けての支援

令和7年度井原市がんばる地域応援補助金審査会(第2回)が6月17日午後、つどえ～るで開かれました。

冒頭、井原市市民活動推進課の岩本陽子課長が開会通告を行い審査会に入りました。

今回申請した木之子・県の里・野上のプレゼンテーションは各協議会の事業ごとに進められ、審査委員5人が目的や将来的見通しなど様々な角度から質問。申請者側がこれに答える形式で行われました。

■井原クラフト会が作品展



井原クラフト会(小倉好恵代表)がつどえ～るで6月8日～27日、ハンドメイドのクラフトバッグ展を開きました。

玄関を入ると目に飛び込むのはメンバーが趣向を凝らした色彩豊かな近作28点。4枚のパネルへ掛けられ、館内に明るい雰囲気を出していました。来館者の中には「えーっ、

これを自分で仕上げられたんですか？」と驚く人もいました。

■きりえアートの会作品展



切り絵の魅力を伝えたいと、きりえアートの会(平川孝之代表)が7月10日より、つどえ～るで作品10点を展示中。皆さまのご来場をお待ちしております。会期は7月27日まで。7月21日と22日は休館。

つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料
交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・ミニ会議室
注) コピー印刷等は実費が必要です
注) 本施設は公益的事業以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ
注) 倉庫の使用はご遠慮願います
注) ゴミは各自お持ち帰り願います
- 【2階】有料会議室(机15・椅子30)
9:00～17:00 1時間 200円
17:00～21:00 1時間 300円
冷暖房は1時間 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始
注) 月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は休館
注) ご利用には事前の申し込みが必要

